

令和 7 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<p>①自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。</p> <p>②文章全体と部分との関係に注意しながら、表記を確かめて、文章を整えることができる</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black;">本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 54.0%</p> <p>①書くことに課題がある。読み手に自分の意見の根拠を明らかにして意見を明確に伝える力が弱い。</p> <p>②文章全体の構成や表記を確かめて、読み手を意識した文章を整えることに課題がある。</p>	<p>①各單元における他者との意見交流を通して、意見の根拠や自身の意見を明確に示した文章の推敲によって指導していく。</p> <p>②文章内における自分の考えの効果的な示し方を吟味させ、グループで交流する活動を行う。</p> <p>③文章の構成や表現の方法に着目しながら、ワークシート等にまとめ、互いに分析する活動を行う。</p>
社会	<p>①基本的な知識を身につけ、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的に考察し、説明したり、表現したりすることができる。</p> <p>②諸資料を基に出題文の意図を正確に理解することができる。</p>	<p>①学力差が大きく、特性のある生徒への対応を要する。</p> <p>②選択形式では正答できるが、資料を基に考察し、説明するなど、思考力・表現力を必要とする問いに対する力が弱い。</p> <p>③読解力不足により、問題の意図を正確に読み取ることに課題がある。</p>	<p>①単元内自由進度学習、複線型授業等を取り入れ、特性のある生徒も個別最適な学習を進められるようにする。</p> <p>②資料などを見て、「なぜ～なのか」という問いの形を意識しながら考察、思考する力を単元ごとに養う。</p> <p>②話し合い活動、発表、パフォーマンス課題等から課題に正対する読解力、表現力を伸ばしていく。</p>
数学	<p>①「数と式」「データの活用」の領域の問題を解くことができる。</p> <p>②「知識・技能」を身につける。</p> <p>③選択式の問題への取り組み方法を理解する。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black;">本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 51.0%</p> <p>①「数と式」「データの活用」の領域において、都の平均正答率を大きく下回っている。</p> <p>②「関数」の領域においては、全国、都の平均正答率と比べ高くなっている。</p> <p>③問題形式別正答率において、「選択式」の問題が、全国よりも5ポイント下回っている。比較や解釈を必要とする問題が課題である。</p>	<p>①「数と式」では、「素数」など基本的な内容の理解ができるよう、年間を通して復習、確認を行っていく。また、「データの活用」の領域においても、言葉の意味や基本的な求め方を反復していく。</p> <p>②全体的に「長文」から条件を適切に読み取り、処理する学習を充実させる。</p>

令和 7 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
理科	<p>①自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>②観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>③自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 46.7%</p> <p>①生物領域の「呼吸を行う生物の選択」など、基本的な知識・技能の理解が十分でない様子が見られた。</p> <p>②地層の構造の問題など、実験・観察の結果から関係性や規則性を見出す力に課題が見られた。</p> <p>③振り返りや課題設定において、既習事項を活用してさらに学ぼうとする探究的な姿勢が育っていない様子が見られた。</p>	<p>①毎回の授業や単元の区切りなどで小テストや単元テストを実施し、反復学習を行うことで、知識・技能の定着を図る。また、関連する単元で既習事項の確認を行う。</p> <p>②グラフや表、モデル図などを活用し、結果を予想・推測する力を日ごろの授業から多く扱っていく。</p> <p>③振り返りをさせる際に、学んだことだけではなく、さらに学びたいことや疑問点を書かせることで、日ごろから色々な事物・事象を多角的にみる態度を養わせていく。</p>
音楽	<p>①音楽表現に必要な知識や技能を身につけ、思いや意図をもって音楽表現を創意工夫する能力を身につけさせる。</p> <p>②主体的・協働的に音楽活動に取り組む姿勢や、粘り強く取り組む姿勢や態度を養う。</p>	<p>①歌唱表現における身体の使い方や、口の開け方、発音のしかたを理解しているが、実践することができていない生徒が多い。また、強弱記号など楽譜にある記号の知識はあるが、それを表現したり、曲にふさわしい表現を工夫したりすることが苦手である。</p> <p>②合唱など、得意な人や音楽が好きな人に頼ってしまい、個の能力を高めようとしていない生徒がいる。</p>	<p>①実際に手本を示し、生徒も教員も一緒に取り組む。また、授業の中で個別の指導をする時間を設ける。得た知識を、音楽表現の中で工夫するために、いくつか例を挙げ、表現の工夫のしかたを示す。</p> <p>②得意な生徒や音楽が好きな生徒を手本に、ペアやグループでの練習を取り入れ、集団に貢献することの楽しさや意義を随時説明する。できるようになるまで、一緒に取り組む。</p>
美術	<p>①課題を通して感じ取ったことや考えたことなどをもとに材料や用具の生かし方を考えて、心豊かな表現をすることができる。（表現）</p> <p>②作者の意図や生活と美術について考え、対象の見方や感じ方を広げることができる。（鑑賞）</p>	<p>①達成感を味わう作品にするための知識・技能の習得がやや不十分である。</p> <p>②発想や構想を練ることが苦手な生徒が多い。</p>	<p>①基本的な知識や技法については授業の導入時や、毎単元の各段階にて再確認する。</p> <p>②アイディアスケッチの時間を十分に確保し、また多くの作例を示すことで、個々のイメージを膨らませる。</p>

令和 7 年度 授業改善推進プラン

保健体育	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<p>①運動や健康に関する知識・技能を理解し、日常生活に活かす力を育成する。</p> <p>②仲間と協力しながら取り組むコミュニケーション力・自己調整力を育成する。</p> <p>③健康課題や生活習慣について自ら考え、主体的に判断し実践する態度を育成する。</p>	<p>①運動技能の二極化が見られ、運動が苦手な生徒の意欲や達成感が不足している。</p> <p>②保健分野において、知識理解はできているが、生活習慣の改善につなげる実践力が不十分である。</p> <p>③「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の評価が、技能面に比べて弱い。</p>	<p>①ICT を活用し、動画撮影や振り返りツールを用いた課題の可視化を行う。</p> <p>②協同的な学習や少人数でのゲーム形式を取り入れ、誰もが達成感を得られる活動を工夫する。</p> <p>③保健分野ではディスカッションや体験活動を取り入れ、生活習慣を見直し改善する実践的な学習を推進する。</p>

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	<p>①技術科で扱う分野の基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる。</p> <p>②よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>【家庭科】</p> <p>●生活をよりよくする技能・技術の習得、生活に生かせる体験的学習の経験や、知識技能の習得ができる。</p> <p>●主体的に学習に取り組む態度や、生活に生かせる技能の基本的な知識・技能の習得を身に付けようとしている。</p>	<p>①基礎的な知識の定着に差がみられる。また、技能では適切な道具の使い方が定着しておらず、製作課題に時間を要してしまう傾向がある。</p> <p>②基礎的な知識を習得した上で、広い視野をもち、社会的課題を発見し、解決策を考えることができつつある。</p> <p>【家庭科】</p> <p>●ワークなどの単元ごとに勉強する授業は集中できるが、裁縫や作業などの説明や指示をその場で理解し自ら学ぶ、もしくは作業を進めることは難しい生徒がいる。【1 学年】</p> <p>●裁縫や作業の授業では内容を理解して、自ら進められる生徒もいる一方、集団での説明では理解が難しく、個別で指導が必要な生徒もいる。【2 学年】</p> <p>●進路に向けて 3 年生の自覚をもち、授業に真剣に取り組む意欲を感じる。ただし、個人製作ではこだわりや独自性が強い生徒もいるので個別対応が指導上必要となる。また、作品を具現化するまでに時間がかかる生徒が多い。【3 学年】</p>	<p>①単元ごとの小テストを実施することで、基礎的な知識の習得に努める。また、実技において道具を使用する際には、机間指導を実施し適宜アドバイスや見本提示を行っていく。</p> <p>②正しい情報の収集や、情報の整理・分析、表現を行うために必要な情報スキル・モラルを養う。</p> <p>【家庭科】</p> <p>1 基礎学力の定着</p> <p>(1) 1 時間の授業ごとにめあての掲示。文章や言葉のみでなく、絵、写真や図、書画カメラで実物をうつしながら授業するなど、視覚的な面から興味関心を引き出させる。</p> <p>(2) 限られた時間内で日常生活に生かすことのできる学習活動や実習をおこなう。基本的な技能を身につけさせ、そのうえで、思考力・判断力・表現力を育て高めさせる。</p> <p>2 1 を支える家庭学習の推進</p> <p>(1) 夏季休業中の課題として、自宅で調理実習や、自宅で調べ学習などを課すことで実体験を増やす。</p>

令和 7 年度 授業改善推進プラン

外国語 (英語・国際)	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	①語彙能力を問われる問題をより正確に解くことができる。 ②「書くこと」の問題をより正確に解くことができる。	①語彙問題の正答率が45%を下回っている。 ②「日常的な話題について、事実と自分の考えなどを整理して、まとまりのある文章を書く問題」の正答率が前者は40%を下回っている。	①語彙能力を問われる問題に関しては、授業中において、単語テストを單元ごとに行い、強化を図る。 ②話すこと・書くことについてのアウトプット活動の充実を図る。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	①自主的に考え行動する態度を養い、主体的に行動に移す心の育成を目指す。 ②誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心の育成をする。	①授業のねらいを先読みして、模範となる答えを率先して答えようとする生徒が多い。	①教員が研修した「人権」についての学びを、道徳の授業で行う。 ②各教科授業ごとに人権教育を意識して授業を行う。 ③多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫 ④心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫 ⑤「特別の教科 道徳の教科書」活用の工夫
特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	①様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。	①集団活動を円滑に送るための自主的な活動ができる生徒とできない生徒の差が大きい。	①生徒自ら計画し、行動することを促してリーダー育成を目指して行事の実行委員等を活用する。 ②生徒会活動において、生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、話し合い活動を充実させる。
総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
	①SDGsに主軸をおき、多くの社会で活躍する人材と交流し、グローバルな視点で物事を考えられるようにする。	①3年間を見通したSDGs教育を実施し始めた。しかし、行事が多いこともあり、振り返りや引継ぎの時間が十分に確保できていない。余裕をもって行うことで、より発表などの場が増えると考ええる。	①国際理解については、大使館を訪問したり、ゲストティーチャーを招いたりして、日本文化を体験する機会を設ける。シンガポールの修学旅行を通して日本と世界のSDGs達成に向けた改善策を考えていく機会を設ける。